



平成 31 年 1 月 31 日

各 位

上場会社名 双信電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 上岡 崇  
 (コード番号 6938 東証第1部)  
 問合せ先 経営推進本部長 中西 港二  
 (TEL 03-5730-4500)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 31 年 3 月期第 3 四半期(累計)連結業績および最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年 10 月 30 日に公表した通期連結業績予想を修正しましたので、お知らせします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,900	550	580	360	23.08
今回修正予想(B)	10,200	200	230	20	1.28
増減額(B-A)	△700	△350	△350	△340	—
増減率(%)	△6.4	△63.6	△60.3	△94.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期通期)	10,375	508	508	355	22.79

#### 2. 修正理由

当第 3 四半期(累計)連結業績は、主に産業機器分野のノイズフィルタ、情報通信機器分野の積層誘電体フィルタと車載用厚膜印刷基板が想定を下回り、低水準に止まりました。

ノイズフィルタは、中国経済の鈍化により中国市場向け機械装置用の受注が落ち込んだほか、半導体市場の悪化による半導体製造装置の投資抑制で半導体市場向けも減少しました。

積層誘電体フィルタは、新規格無線 LAN の新市場が十分立ち上がり新製品が伸び悩み、車載用厚膜印刷基板は、新品種の本格量産時期が想定より遅れ第 4 四半期にずれ込んだことなどで減少しました。

第 4 四半期は、ノイズフィルタ関連市場の回復や積層誘電体フィルタの新市場の本格化が見込めないことに加え、中国スマートフォンの市場悪化により通信端末用厚膜印刷基板の需要も減少する見通しであることなどから、通期連結業績予想は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回予想を下回りました。

(注記)

業績予想は、現時点で得られた情報にもとづいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以上